



残りの日々をどう過ごすか…それが問題だ！！

3年生前ローカの掲示板には中学校生活があと何日なのか…カウントダウンカレンダーが掲示されています。生徒一人ひとりが自分に向けて、或いはクラスの仲間に向けて、あと残り少ない中学校生活をどう過ごすかについてコメントを添えながら描いたものです。「テスト発表2日目。ワークやっていますか？」「今日でテスト終了。最後まで諦めず頑張りましょう。」「学年末テストおつかれさまでした。入試まで頑張りましょう。」「泣いても笑っても最後の『学力テスト』」「卒業まであと一ヶ月、頑張りよう」というように自分を鼓舞し、仲間と一緒に頑張り続けようという決意が書かれています。これを見るたび力が湧いてきます。



リモート？対面？…いえいえハイブリット授業です。

昨年度から子どもたち一人ひとりにタブレット端末が配備され、各教科の授業でも、そのほかの学習の際もタブレットを使いながら学習する場面が多くなりました。教室で、お互いに顔を合わせて、自分の考えを発表したり、話し合ったりしながら学習を進めることに違いはないのですが、直接見たり触れたりできないことを動画で見たり、みんなでコンピューター上で作品を作り上げたりなど、一人ひとりの理解を深めるのにとっても役立っています。

最近、授業の課題などもコンピューター上でやりとりされます。今までは授業で使う学習プリントや宿題のプリントなどはすべて、先生が紙で配って、できたら提出して、先生が赤ペンで丸つけしたり、コメントを書いたりしていました。

でも今は紙で配らずに、先生はオンラインで配り、子どもたちはコンピューター上で課題に取り組み、先生のコンピューターにオンラインで提出…先生はそれを見て丸付けやコメントを書き込んで、また子どもたちに返す…というように、対面での授業ですが、同時にオンラインでも繋がっている…ハイブリットな授業となっています。



(有) 文芸大賞…



有田市文芸大賞で、橋中惺哉くんが優秀賞に選ばれました。とても素晴らしいです。初島中学校は、どの教科の授業でも、「表現力を高める」ことを大きな柱にしているので、このように表現力豊かな作品が表彰されることはとても嬉しいことです。おめでとうございます。

惺哉くんの作品は、2月末まで有田市文化福祉センターの玄関ホールに展示されています。また、有田市ホームページにも掲載されています。

(県) 科学作品展

新型コロナウイルスの影響で、毎年行われている科学作品展の展示が、今年は中止となりました。でも、審査はいつも通り行われました。本校からは1年生の加藤春仁くんの作品が県出品に選ばれました。

「牛乳からプラスチックを作ってみよう」というユニークな題で、「そんなことできるの??？」と興味をそそられます。世界中でSDG'sが注目される中、加藤くんの研究は世界の環境問題に貢献するかもしれません。素晴らしいです。

予餞会の準備が進行中…

先日のこと…「先生、音楽室の鍵を貸して下さい。」と2年生生徒会メンバーが職員室に来ました。「何するん？」と聞くと、「予餞会の計画なんです。」とのことでした。初島中学校最後の卒業生を送る会を楽しく、充実したものになりたいと思う2年生の気持ちが伝わってきました。先輩生徒会メンバー達が大切にしてきた自治の力…自分たちのことを自分たちで考え、自分たちでよりよくしていく力が、2年生にもしっかりと受け継がれていると感じて嬉しくなりました。

楽しみですね…予餞会。

